

2023年11月10日

各位

会社名：リスクモンスター株式会社  
 代表者名：代表取締役社長 藤本 太一  
 (コード番号：3768 東証スタンダード)  
 問合せ先：財務経理部  
 (TEL 03-6214-0331)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年8月10日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,900	610	610	390	51.78
今回修正予想 (B)	3,730	350	340	210	27.88
増減額 (B - A)	△170	△260	△270	△180	—
増減率 (%)	△4.4	△42.6	△44.3	△46.2	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	3,744	565	552	360	47.60

#### 2. 修正の理由

与信管理サービス事業の会員数は当初の予定を上回って増加しているものの、前期に増加した退会会員分の売上高を補うまでに至っておらず、下期も緩やかな増加にとどまり、前期に比べ減収ベースで推移するものと見込んでおります。利益につきましては、独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化とサービスシステムの増強を継続しており、それに係る原価が増加し、利益を押し下げております。

ビジネスポータルサイト事業(グループウェアサービス等)は、ユーザー数は増えたものの会員数が微減となったことやサービス増強費用の増加もあり、売上高と利益が減少いたしました。下期につきましては、新規のユーザーが収益に大きく貢献するには時間も要すことから、下期も上期並みに推移するものと見込んでおります。

教育関連事業につきましては、前期に一部の代理店向けのサービス提供が終了したことに伴い、売上高、利益ともに前年を下回って推移しております。下期につきましては、定額制の社員研修サービス「サイバックス Univ.」の会員数は安定して推移していることから、さらにコンテンツの充実を図ることで前期並みを目標に進めてまいります。

BPOサービス事業につきましては、上期は大型スポット案件が赤字となったため利益を押し下げたものの、引き続き独自データベースの増強等グループのコスト削減に貢献していることや、下期は業務効率化のためのBPO案件の引合いも多く、受注が見込まれていること等から、上期の損失分をキャッチアップすべく進めております。

その他サービスにつきましては、中国における信用調査レポートやグループのコスト削減を担うオフショア開発が引き続き順調に推移するものと見込んでおります。

一部の事業においては順調に推移しているものの、与信管理サービス事業の動向やBPOサービス事業の上期の大型スポット案件の赤字に伴い、全体としては当初の予定に比べ減収減益で推移するものと見込んでおります。

以上のことから前回予想を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正いたしました。

与信管理サービス事業について、株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消により前期は退会数が増えました。当期は入会数は増加しているものの、新規会員、既存会員ともに前期退会による損失分を補うほどのサービス利用までは至っていない状況であります。

しかしながら、他社に依存した事業構造から脱却し、設立来の事業のリスクを解消したことは、当社にとって大きな変革であり、ビジネスモデルの変更を実現したものと認識しております。このビジネスモデル変更にあたり、サービスリニューアルや独自データベース増強のための投資を実行したこともあり、固定費が増加いたしました。

また、業務提携解消によりサービス開発の制約が無くなったため新サービスの開発に注力していることや、独自データベースのさらなる増強、メンテナンスのため、積極的な投資を継続しております。その為、これら先行投資に伴う固定費も増加しておりますが、将来の収益を確保し、当社グループの更なる発展を実現するための必要コストと認識しており、今後も引き続き積極的に投資を実行してまいります。

### 3. 配当予想について

配当につきましては、前回公表値（1株当たり 15.00 円）より変更なく、13 期連続増配予定であります。

当社は従来より株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付けており、今後も安定的な配当を継続することで、還元を実現してまいります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上